



国営ひたち海浜公園

PRESS RELEASE

SEASIDE PARK

ひたち海浜公園から発信する旬な情報

2015年12月11日

H27年度 VOL.48



大観覧車のゴンドラ内からの眺め（完成前日） 2015年12月10日撮影

# 完成！ 千支の巨大地上絵

和が創り出す2匹のさる。想いが形になりました。

11月28日（土）より制作を開始した、国営ひたち海浜公園の冬の風物詩「千支の巨大地上絵」が完成しました！  
今回は「和」をテーマに、携わったスタッフのこだわりや、「みんなでアート」の巨大地上絵をつくろう！(12月5日(土)～11日(金))に参加されたお客様の想いが集まって、2016年の千支である巨大な

『申さる』を描き出しました。  
その本物そっくりな毛並に使用したコキアや、木枠内を埋めた松ぼっくりは公園産。素朴な自然素材で創られているため温かな雰囲気が出ています。  
大観覧車から、和やかに抱擁し合う2匹のサルをぜひご覧下さい。

お問い合わせ先：国営ひたち海浜公園 ひたち公園管理センター 広報課 広報係 服部・浅沼・安蔵

〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡字大沼 605-4 TEL:029-265-9001(報道関係者の方は029-265-9004・9005 迄) FAX:029-265-9339

ホームページ <http://www.hitachikaihin.jp> “ひたち海浜公園”で検索。

## 巨大地上絵が できるまで

地上絵ができるまでをご紹介！  
コキアは枯れた後も、皆様にお  
楽しみ頂けるように、変化して  
いるのです♪



7~10月

夏から秋にかけて、コキアが魅せ  
る色彩の変化を、多くのお客様に  
お楽しみいただきました。



11月上旬

紅葉が終わり刈り取ったコキアを  
乾燥させます。



11/28~12/7

いよいよ作業開始！材料となる  
コキアや薪を丁寧に並べていき  
ます。



12/4~9

サルの立体感ある毛並みはコキア  
で表現。



12/5~11

お客様に、松ぼっくりを木枠内  
に入れていただき、完成させます。  
ご協力ありがとうございます！

## 今回のテーマ“和”やデザインについて

2016年の干支「申（さる）」は、群れで生活する動物です。集団で活動するには秩序やルールが大切であり、そこから「親和・調和」という言葉を連想し、今回のテーマを“和”に決めました。

また、“和”とは日本を意味する言葉でもあります。多くの外国人観光客が日本を訪れ、観光立国日本となっていく今、改めて日本人としてのアイデンティティを考え、大切にすることが重要であると考えています。

また、上下にある松は、古来より日本画などでも描かれる日本を代表する樹木です。海沿いでは防風林としても使用され、本公園にも数多く生育し、雨風・塩害から守ってくれる欠かせない存在です。

## テーマ・デザイン担当者からコメント♪

2匹のさるが抱擁し合い、シンメトリー（左右対称）となっている今回のデザインは、対等な立場であることを表現しており、世界が平和へ向かって歩いていくためには、相手を思いやる・尊重することが大切であると考えています。

大観覧車に乗って、仲良く“ハグ”し合う姿をぜひご覧ください！



2015年12月10日撮影

◆サイズ：縦 約24m×横 約25m

■コキア約1,500本 ■松ぼっくり約15,000個

ココを見てほしい！  
職人のこだわりポイント



### ◆サルの毛並

頭の毛並は、コキアを半分以下に分割し、より細かい毛流を表現。肩やお尻は立体感を出すために、他の箇所より多くコキアを使用。毛並を整えるため、竹ぼうきですいています。

### ◆上下の松

松の根元から先端にかけて、使用する松を細くしていくことで、筆で描いたような表現に仕上げました。

## Q.巨大地上絵を始めたのはなぜ？

A.「ひたち海浜公園ならではの、冬の新たな魅力となる新企画を！」というところから始まりました。松ぼっくりやコキア等、園内の素朴な自然素材を使用し、お客様の心をホッと温めるような作品を、それも、お客様と一緒に作り上げたいと考え、2009年からスタート。大観覧車に乗って上空から見る、スケール感あふれる景観を提供してきました。



第一回（2009年）の干支「丑」

## 巨大地上絵 鑑賞・撮影のススメ

- ①大観覧車に乗った際の、おすすめの鑑賞・撮影タイミングは、正面から見て11時の位置！
- ②午前中に大観覧車から巨大地上絵を観ると、縁取りの間伐材が日に照らされて、黄金色に輝きます！

この辺り



プレスリリース

次号予定

古民家でお正月！